

自動更新と強制更新ワークステーション

概要

自動更新URLスキームは、ワークステーションが更新を自動的にチェックし、ユーザー介入なしでインストールできる機能です。この機能は、ユーザーが常に最新バージョンのワークステーションにアクセスできるようにするために便利です。

強制更新URLスキームは、ワークステーションがアプリケーションの新しいバージョンに更新することをユーザーに強制できる機能です。これは、更新されたバージョンがたとえば、すぐにインストールする必要がある重要なバグ修正またはセキュリティパッチを含む状況で便利です。

Workstationを更新

オプションの引数はいくつかの、新しいパーマリンクアクcheckForUpdateションをサポートしています。

引数	説明
updatesFeedURL	ログインしていない場合でも、アプリを更新する上で可能な値は、次のとおりです。 - 更新のフィードURLのフルパスを使って - default アプリがアーカイブos環境ごとにデフォルトのURLを使用できるようにします。
to	現在のバージョンより前に進めたいバージョン – 現在のバージョン>=to値の場合 – 更新は行われない
from	現在のバージョンより前に進めたいバージョン – 先に取得するバージョン fromto – 現在の値>が指定されていない場合、更新は行われません
force	更新が正常にダウンロードされた後に、再起動します パーマリンクが使用される前でも、更新がすでに準備されていた場合、アプリが再起動します

アクcheckForUpdateションは、可能な限り早くリクエストを処理するために、コンテナによって消費する必要があります。

Caution

updatesFeedURL 慎重に使用してください！これはOSごとに、アーキテクチャごとに使用します。

Note

- アプリの更新が正常に完了し、to値以上に更新する保証または継続的なプロセスはありません
- 新しいパーマリンクは、従来の更新チェックをトリガーします

強制更新例URL

walkme-workstation://aa2c91b1ec444c76a313a68f69478c55/checkForUpdate?to=ga